# 実施状況報告書チェックリスト(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)分)

このチェックリストは実施状況報告書の入力等の誤りをなくし、修正等の事務手続を軽減するため、その記載事項の主な確認点をまとめたものです(作成上の注意も併せてご確認ください。)。

「交付申請書」「交付決定通知書」「収支簿」「変更承認書」(該当がある場合のみ)等に基づき、個々の課題について実施状況報告書を作成した後、このチェックリストにより確認し、提出してください(チェックリストの提出は不要です。)。

### 1. 共通事項

チェックの観点	備考
□正しい様式を使用しているか。	様式番号が「F-6-3」「F-7-3」 となっているか。
□全ページが揃っているか。	
□A4判(縦長)・両面印刷しているか。	「収支状況報告書(様式F-6-3)」と「研究実施状況報告書(様式F-7-3)」は別の用紙に印刷すること。
口訂正印及び修正液等の使用がないか。	本様式の作成時に誤入力があった場合には、改めて作成すること。
□電子申請システム対応事業の場合、電子申請システムで作成した最終版となっているか。	電子申請システムを使用して作成すること。 全てのページの右上に印字される版数と、科研費電子申請システムで最 後に送信した版数は一致させること。
□文字化けや誤字・脱字がないか。	文字化けの発生や別の文字として認識される場合があるため、JIS第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用しないこと。

### 2. 収支状況報告書 (様式F-6-3)

2~3頁を参照してください。

### 3. 研究実施状況報告書(様式F-7-3)

4~7頁を参照してください。

#### 研究実施状況報告書の基本的な考え方

科研費は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められている。

「研究実施状況報告書(様式F-7-3)」は、当該年度に実施した研究の成果や研究の進捗状況に関する自己点検による評価等を記載するものであり、国立情報学研究所の科学研究費助成事業データベース(KAKEN)(https://kaken.nii.ac.jp/)において広く公開する。研究協力者等の個人名等の個人情報を入力する場合は、本人の承諾を得ること。

□全ページが電子申請システム上の最終版の版数と-致するか。 実施状況報告書のチェックリスト(収支状況報告書) 口版数を手書き修正していないか。 口版数を手書き修正していないか(手書き修正不可)。 1版 科学研究書助成事業(学術研究助成基金助成金)(国際共同研究加速基金(国際共同研究面包))美旭八元報告書(収文八元報告書) 成29年度) 口研究代表者の情報は、平成30年3月31 日時点での情報が記載されているか。 独立行 日本学術振興会理事長 殿 平成30年 5 月31日 所属研究機関の 0000口実施状況報告対象年度となっているか(特に、 部〇〇区〇〇2-5 本部の所在地 2年度目以降の場合には、対象年度より前の 所属研究機関 ○○大学·○○研究科·教授 年度のものを印刷していないか。)。 部局・職名 フリガナ 00 00 表 者 口押にされているか。 氏 名 印 ○○の××に関する総合的研究(国際共同研究強化) 13,000,000 円 交付決定額 うち既受譲顛累計(a) 研究課題名 13,000,000 円 うち支出額累計(b) 5,000,000 円 補助事業期間 平成28年度 ~ 平成30年度 差 額 (a-b) 8,000,000 円 費目別収支狀況等 直接経費 間接経費 合計 (c+d) 人件費・謝金 その他 計 (c) 譲渡額(d) □円単位で記載されており、収支簿等と齟齬が 交付決定額の 3,000,000 00 内訳 口補助事業者が所属する研究機関 口利息を含めない金額となっているか。 に譲度した間接費の額を記載 口主要な物品明細書に記載した金額と齟齬がな 実支出額の しているか。 3,000,000 累計額 ※実際に執行した額ではない。 うち当該年度 1,500,000 1, 300, 000 200,000 1,500,000 の実支出額 口補助事業期間の初年度の場合、補助事業者が所属する研究機関に譲度した間接 直接経費付訊変更:平成30年2月1日 経費の額を記載しているか。 口補助事業を中断し当該年度に支出実績がない場 ※実際に執行した額ではない。 合はその中断事由及び中断期間が記載してある ※国際共同研究強化こおいては、初年度に全額譲渡することになるため、交付申 **価格が50**万 請を年度末に行い間務経費の送金を翌年度に受けた場合でも、初年度に全轄記 載する。 様 物 名 品 口補助事業期間の2年度目以降の場合、0となっているか。 型 · 性能等 500,000 〇〇大学 **●▲■**×装置 (株) ●▲■ RN-SWR 1 500,000 (H29. 10. 19) □平成30年3月31日時点での設置機 ※複数の利研費等により共用設備を購入した場合の例 関名が記載されているか □金額の合計≦「うち当該年 **●▲■**×装置 (株) ●▲■ RM-SWR 1 31, 500, 000 度の実支出額(A)の物品 (共用) (100,000)費になっているか。 ※合算使用により物品等を購入した場合の例 □数量×単価=金額となって いるか。 **●▲■**×装置 1 31, 500, 000 (株) ●▲■ RM-SWR 31, 500, 000 (合算) (200,000) (H29. 10. 19) 西洋中世政治史関係図書 □複数の科研費等により共用設備を購入した場合 又は 合算使用 ●▲■出版 他 1 (30 ∰) により物品等を購入した場合については、 . 15) 物品等の総額が50万円以上の場合に記載し、そのうち、直接経費に より負担した額を()書きで記載しているか。 □一品又は一組若しくは一式の価格が50万円以上の物品(図書を含む。消 (例:30万円(直接費)+25万円(他の科研費)=55万円(終額の 耗品、備品の別を問わない)が全て記載されているか。 場合には記載。) 口少額の図書を多量に購入した場合には、50万円程度を一括して、例えば 「西洋中世政治史関系図書」のように、ある程度図書の内容が半別できる ような表現を用いて記載しているか。 ロページに飛びがないか(全ページ揃っているか)。

補助事業者								
研	究	代	表	者	直接	経費	間接経費の	
所属研究機関 ・部局・職名		氏	名	研究者番号	実支出額 の累計額	当該年度 実支出額	譲渡	備考
○○大学・○○研究科・教授	0 0	) ()	0		円 2,000,000 立で記載されており、収	1,500,000	3,000,000	( 300,000) ■■大学 (2,700,000) ○○大学 変更 平成29年7月19日
口研究代表者の	齢は	平成30	年3月31F	<ul><li>□利息</li><li>るか。</li></ul>	・歯噛あがないか。 を含めない金額となって	cu /		期間の初年度の場合で、所
時点での情報							に( )書	変更した場合には、備考欄 きでそれぞれの研究機関へ 費の譲磨動が記載されてい
				経費が ※実際は ※国際共 渡するこ	業期間の初年度の場合 正く記載されているか 執行した額ではない。 両研究針目こおいては ことになるため、交付申 経費の送金を翌年寛ご	、初年度二全額譲 電影・年度末二行	□変更の事 いるか。 ※補助事業 合、所属 ぞれの研	実発生年月日が記載されて 期間の2年度目以降の場 類異の変更があってもそれ 院機関への間務経費の譲
					に全額高載してください 業期間の2年度目以降の			載は不要。   
計 (/計)		1 名	ı		1,000,000 円	1,000,000円	3, 000, 000円	
					課題番号	16KK2345	機関番号	12345

実施状況報告書の	施伏児報告書のチェックリスト(研究実施伏児報告書)						手書き修正して		<u> </u>		<b>)</b>
様 式 F-7-3	}										
科学研究	費助成事業	業 (学	術研究助成基金	念助成金)	実施状況	報告書	<b>詩</b> (研究実加	施状況幸	银告書)	区成29年月	度)
1. 機関番号	1 2	3	4 5		2.	研究機	幾関名 -	00大	学 <b></b>	<u> </u>	
3. 研究種目名	国際共同	_	加速基金(国際共						4月 なって	ジス球告対象年月 いるか。 、2年度目以降	
5. 課題番号	1 6 K	K	□研究代表者の 静ೖ。 いるか。 □部局・職名について □ 歴タを言るしている。	は「その他」					場合に 前の年	、2年度日の中 には、対象年度。 時度のものを印 ないか。)	より
6. 研究課題名	○○の×	< × l	職名を記入している	ە' ل <i>ى</i> '							<u> </u>
7. 研究代表者					1						<b>—</b>
研究	者番号	<u>1.</u> 7	研究代表	者名		所	属 部	局	名	職	4
1 0 7 6	5 4	3 2			 〇〇研究科					教授	
8. 主たる外国機関と	と海外共同	研究者	の状況								
渡航期	間		渡航先国名		[先外国 线関名		三な海外共同 研究者名	J	部局	・職名	
2017年9月1日 ~		米国		A大学		AAA	AAAA	Afr	形所・教授		
<i>澳</i> 航先外 国機関	変更	V	EO月O日								
たる測洗が □翌年度こ継 (例 2017 年 □前年度から (例 2017 年3 □当該年度内 また、それぞ (例 2017 年	性 関型 を は を は は は は は は は は は は は は は は は は	載してい の場合は か場合は 7年5月 に複数値 引こつい 1017年5	場合は、研究代表者が いるか。 は、激が終了年月日欄 月1日(予定)の場合は は、、激が開始日欄は 月15日の場合は、201 では、「16. 備考」欄で 月15日、2017年8月	は空欄になっ は、渡前開始 2017年4月 7年4月1日 の渡前開始日 記載されてい	っているか。 日の2017年9 1日となってい 1~2017年5月 日と最後の渡航 いるか。	月1日 <i>0</i> るか。 15日と記 終了日か	のみ記載しているか 記載とているか	へるか。 、 るか。			
9. 研究実績の概要		000	000000	00000					00000	00000	200
0000000			0000000	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	00000 000000 <b>と</b> しているため 。 分配慮している い。)	) () () () () () () () () () () () () ()	000000 000。 <b>用誌</b> 000 000				000
00000000	000. 00000 00000	000	00000000	00000			00000	)000	00000	00000	000
	_						ロページに新	心がない	いか(全ページ排	前っているか。)	)。

(1/4)

(課題番号: 16KK2345)

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

10.	キーワ	_ `	K"

(1)	○○タンパク質	(2)	○○分離法	(3)	○○分析	(4)	○○受容体
(5)		(6)		(7)		(8)	

## 11. 現在までの進捗状況

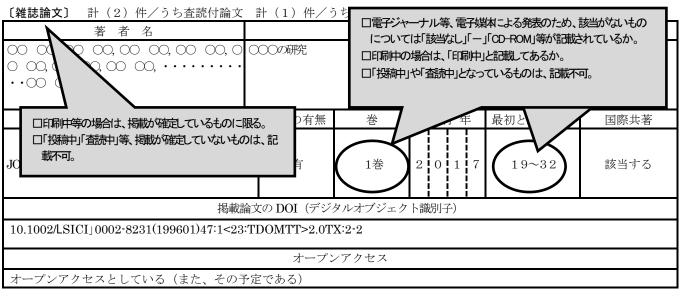
11. 現住までの進捗状仇		
(区分) (1) 当初の計画以上に進展している。		
(理由) 000000000000000000000000000000000000	000000000000000000000000000000000000000	0000
000000000000000000000000000000000000000		0000
000000000000000000000000000000000000000	000000000000000000000000000000000000000	0000
000000000000000000000000000000000000000	000000000000000000000000000000000000000	0000
000000000000000000000000000000000000000		0000
000000000000000000000000000000000000000	用することは避けているか。 □個人情報やプライバシーに十分配慮しているか。	0000
O.	(英語で記載しても差し支えない。)	
	※本欄の内容はこのまま広く公開されます。	

### 12. 今後の研究の推進方策 等

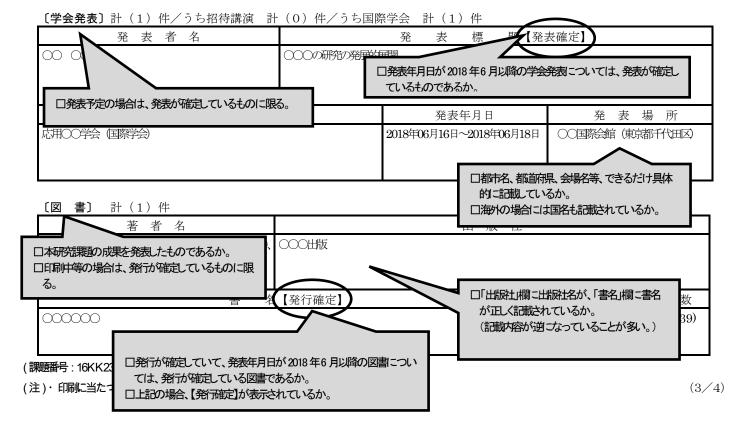
(今後の推進方策) 000000000000000000000000000000000000	0000
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	0000
平成30年度のエフォート       ○○ %	

□「13. 研究発表」の共通事項として、本研究課題の研究成果を発表したもののみ記載可能。 □研究代表者が所属する研究機関こよる交付申請書提出日より前に発表したものは、記載不可。

13. 研究発表 (平成29年度の研究成果)







#### [出 願] 計(1)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
	00 00	OO 1 24	44-24 44-22-201 a 01-200a	2010/72 [11]	
○○の○技術 □研究代表者が所属する研究機関による	る交付申請書提	出日より前に出		2018年3月1日	国内

#### [取 得] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
			(	2018年1月31日	•
00000	0000	000	000	出願年月日	
				2017年3月1日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

口都市又は会場名が記載されているか。

[国際研究集会] 計(1)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所
0000	2018年02月16日~201 8年02月18日	○○国際会館(東京都千代田区)

口研究代表者が所属する研究機関による交付申請書提出日より前に開催した ものは、記載不可。

16. 備考

○○大学○○研究科○○研究室ホームページ

http://monnbudaigaku.com/tokyo/kakenhi/seika

A大学への渡航期間:2017年4月1日~2017年5月15日、2017年8月1日~2018年3月31日

A大学における主な海外共同研究者名、部局・職名: AAAAA A大学・A研究所・教授(2017年4月1日~2017年5月1

5日)、DDDDD A大学・Aセンター・研究員(2017年8月1日~2018年3月31日)

□1つの主たるා部た外国機関において、源前期間によって主な海外共同研究者 が異なる場合や、ා朗祺間中に主な海外共同研究者の変更があった場合には、 それぞれの海外共同研究者について、記載しているか。

(1つの主たる)測洗外国機関において、同一期間に複数の海外共同研究者が 存在する場合は、そのうち1名のみを「主たる外国機製と海外共同研究者の状 況」欄 こ記載することとなり、備考欄への記載は不要となる)

口「主たる外国機関と海外共同研究者の状況」の記載と整合性がとれているか。

- □ 当変年度内に、同一機関に複数回療礼た場合は本欄にそ れぞれのා崩間について、記載しているか。
- 口「主たる外国機関と海外共同研究者の状況」の記載と整合性 がとれているか。

(課題号: 16KK2345)